

742遠忌御会式

10月27日 14時より厳修



清澄

令和5年9・10月
合併号

発行所
〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322-1
© 清澄寺
TEL 04(7094) 0525番
FAX 04(7094) 0527番
振替 00140-5-55501

印刷所
天津(有)ラザーリ印刷
送料共1部100円

お知らせ

10月

27日 14:00	式
お会式	行
19:00	要
唱題	
28日 5:40	
曉天法	



御会式

桜と万灯

日蓮聖人は、弘安5年
(1282年)10月13日、午
前8時頃、東京池上の地に

おいて、61歳で入滅されま
した。

その場所には現在、池上
本門寺があり、入滅の聖日
には、盛大にお会式が営ま
れていることでも有名であ
ります。

また、池上本門寺に限ら
ず、日蓮宗の各寺院でも、
お会式は大きな年間行事の
一つとして、檀信徒の皆様
に親しまれており、当山で
は、10月27日にお会式の法
要を営み、28日の早朝には、
旭が森にて暁天法要を行つ
ております。

お会式の付き物として有
名なのが、「桜」と「万灯」
です。

「桜」は、日蓮聖人が入滅
された時、その近くにあつ
た桜が、10月という季節外
れにも開わらず満開にな
り、弟子や信徒等と一緒に
嘆き悲しんだという言い伝
えがあります。

「万灯」は、たくさんの
灯りを燈す事で、仏様や菩
薩様の供養を行うという意
味があり、お会式の際も、
大きな灯りを持ち、高く掲
げて、日蓮聖人のご遺徳を
讀えると同時にお供えをす
るのです。

本年は13時より、万灯奉
納がありますので、お知ら
せ致します。

12月

31日 朝勤	勤
報恩	経
23:55	鐘
除夜の	

虚空蔵菩薩大祭



当山の虚空蔵菩薩は、日蓮大聖人に智慧を授けられた菩薩と共に日本三体（茨城県東海村、福島県柳津）の一つにあげられ、昔より多くの人々に智慧と福徳を授けてくれる菩薩です。

9月13日、その虚空蔵菩薩の大祭が奉行されまし

た。

晴天にも恵まれ、午前8時より受付が開始。随時特別祈祷が行われ、毎年お参

りされる栃木県無畏講（樋口周二講元）様をはじめ、

大勢の参詣者がお参りにな

られ、終日、お経・木劔の

妙音が境内に響き渡りまし

た。

午後2時より齊藤別當御尊師のもと、虚空蔵菩薩の御前において山務職員総出仕にて法要が営まれ、宮崎執事長を修法尊師に、参列者に対して特別加持祈祷が

修され、全国各地より申し込まれた祈願の読み上げが行われました。

又、虚空蔵様より五色のお手綱は「一人でも多くの方に虚空蔵様の御利益を」という思いから、年に一度の虚空蔵大祭のご聖日に限

た。

り、虚空蔵菩薩御尊像左手の摩尼宝珠（宗祖がたまわつた智慧の宝珠）より、導かせていただきました。お手綱を手にする事は、虚空蔵菩薩に直に触れるこ

とと同じとされます。こうしてご縁を結び、いただく事でご利益を授かる事が出来るというもので、多くの方がお手綱を取り、ご縁を深められていきました。

務められました。

8月21日から25日までの4泊5日の日程で、当山信育道場・研修会館を会場として令和5年度第2回僧道林が開催されました。齊藤別當を林長とし、主任・塚本智秀師始め教職員6名が11名の林生の訓育に

教職員見習いとして第60回日蓮宗布教研修所の研修生6名も加わり、林生と共に期間中、出身や年齢、僧侶を志した動機の異なる人々と触れ合い、より一層自分自身の信仰心を高めると共に、法要を行う上で必要な技術等を磨きました。

第2回 僧道林

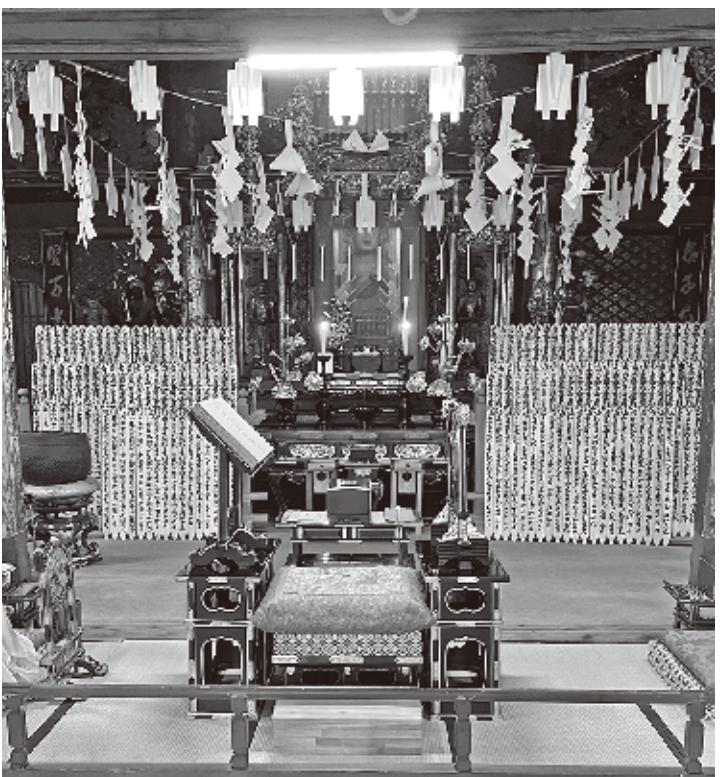


秋季彼岸の供養が、9月20日より26日迄の1週間、朝勤にて回向され、更に迷う心を清浄にする仏道修行、お題目を唱えて心を磨く1週間となりました。

全国の檀信徒の皆様より申し込まれた沢山の卒塔婆は、彼岸明けに萬靈塔に立てられ回向されました。

志學館高等部 夏期合宿ゼミ

志學館高等部(木更津市)
夏期合宿ゼミが、8月5日から8日までの3泊4日に行われて開催、17名の生徒が参加されました。



秋季彼岸会

早朝より起床し朝食を済ませた後、講義等が始まり、夜中12時近くまでそのカリキュラムが続きました。

朝勤には最終日の8日に参列し、生徒は各自自身の志望校受験合格、学力増進を日蓮聖人も智慧を授かった、虚空蔵菩薩にお祈りしつつ心をこめて御焼香をしておりました。

朝勤後、執事長より生徒一人一人に学業守を手渡し、激励の言葉がありました。



台風13号豪雨

8日台風13号は、関東付近に上陸はしませんでしたが、清澄や上総付近に線状降水帯が朝8時頃発生し、今まで経験したことのない豪雨でした。

国道128号線や、養老渓谷に向かう81号線は土砂崩れの為通行止めになり、雨が落ち着き、本堂前の境内を見ましたら、茶色い泥水が流れていて、おかしいと思い、本堂裏を見ましたら、土砂崩れが起こっていたりと被害が大きかったで

上
空
話
室

今回の台風13号は、風はそれ程強くはなかったのですが、清澄も停電や、土砂崩れで水道ポンプが壊れ、その為に断水し、復旧まで3日間ほどかかりました。水道が開通しても、濁つていて泥臭さがあつたりしました。

また、養老渓谷辺りは、川が氾濫し、建物の床上浸水したりと被害が甚大でした。被災地区、被災者の皆様には謹んでお見舞い申し上げ、亡くなられた方にご

お陰様で、本堂や建物の被害はありませんでした。が、9日の朝方には、また雷雨がすごく、目が覚めてしまう程でした。現在はビニールシートを被せるなどして、応急的に対処しております。

冥福をお祈り申し上げます。

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通りの気候に本年はなりませんでしたが、これからが台風の時期にもなります。

今回の台風で、令和元年の房総半島台風を思い出しました。電気や水道の有り難さ、また備蓄品必要性を今一度、肌で感じ、「災害は忘れた頃にやってくる」の言葉通りと思いました。

清澄寺では、皆様の平穏安泰を、日々ご祈念致しております。10月27・28日の御会式には大勢のご参拝をお待ち申しあげております。